

社会資源のリスト化・見える化の 検討状況について



社会資源について | 計画策定における位置づけ

社会資源とは

支援ニーズを充足するために用いられる、有形無形の資源。制度、機関、人材、知識等の総称。専門職による各論福祉（高齢、障がい、子ども、生活困窮）の他インフォーマルな社会資源※1（ボランティアや自治組織、まちづくりの活動）も含んでいる。

※1自治体や専門機関など、公式な制度に基づき提供される支援とは違い、地域住民、NPO法人やボランティアなどによる非公式な支援のこと

高齢

- ・地域包括支援センター
- ・介護施設
- ・老人クラブ
- ...

障がい

- ・相談支援センター
- ・こばと館登録団体
- ...

子ども

- ・子育て支援サークル
- ・子ども食堂
- ・学習支援
- ...

地域

- ・自治会
- ・ふれあいサロン
- ・ボランティア団体
- ...

※その他労働、教育、住まい、地域再生といった多様なカテゴリーが想定される。

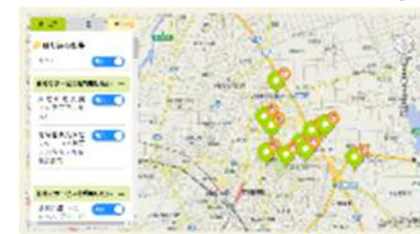
4次計画におけるポジショニング

市民参加の取組の補助や計画素案の作成等のほか、3次計画で作成した「福祉SOSゲーム」をさらに発展させた取組として、**誰もが必要なときに必要とする「社会資源情報を把握することができる手法の検討」**を委託。（策定基本方針 5.策定のプロセス・体制(4)その他 より抜粋）

▼社会資源情報を把握する手法のイメージ(川越市HP)

「福祉sosゲーム」は3次計画における**重点事業**として位置づけ

- ✓ ウェブサイトを使用
- ✓ スマホ等により、いつでもどこでも把握可能



これまでの取り組み | SOSゲームを中心に

福祉SOSゲーム

「地域社会資源マップ」と「困りごとを抱える世帯の事例カード」を使用し、困りごとの解決策を地域住民等が話し合うことで、福祉の課題解決力を高めるとともに、地域の社会資源を知ることができる取組。

SOSゲームの流れ

福祉SOSゲームのサンプル版を使って、ゲームの内容を体験してみましょう



地区の地図を見ながらどの様な資源があるかを出し合ってみましょう



地域の中で、どの様な困りごと(sos)があるか、どの様に解決できそうか、共有しましょう



お悩みが書かれたケースカード

「誰かから相談したいのだけれど...」
「お悩み」欄に記入し、「解決策」欄に記入してください。
「お悩み」欄に記入した内容は、地域の課題として共有されます。
「解決策」欄に記入した内容は、地域の課題解決のために活用されます。

社会資源が書かれたマップ



第3次計画における目指す姿（基本方針1-1）

- 幅広い世代の地域住民が自分達の地域に関心を持ち、地域や福祉に関する理解を深め、参画していくための意識の醸成・参加の更なる促進を目指します。
- またそれらを実現するために、地域住民が知識を習得するための機会を拡充していきます。

地域の多様な主体が『我が事』として参加していくために、地域の社会資源を把握し関心を持てるような環境整備が必要

社会資源情報の整理が求められる背景 | 現状分析と課題の抽出

計画策定での基礎調査や有識者からのご意見

SOS ゲーム

・実例を見ながらどの窓口に連絡したら良いか理解できた。大きな問題などになる前にもっとご近所・自治会など相談できる人、場所を各自が持っている事が改めて大切だと思いました。（サロン）
・市には想像よりもたくさん福祉に関わる部署があり、頼れるところがたくさんあるということを知ることができた。知っていることで、担任として保護者や行政へのアプローチ方法が変わってくると感じた（学校）

アンケート 調査

・地域での活動に必要な情報はどのようなものか
→地域生活にかかる情報（57.8%）
行政の福祉施策・担当窓口に関する情報（44.6%）
・団体の活動を充実させるために市役所に期待する支援
→活動上必要な情報提供（55.2%）

団体ヒア リング

・地域の中での困りごと等の相談を解決するために必要と感じたもの
→地域で活動する団体の情報、各種サービスや制度に関する周知
・（大学生が）地域やボランティア・NPOでの活動に興味をもてるためのきっかけや希望するもの
→InstagramなどのSNSの活用、活動内容の詳細がわかる情報

専門分科 会

地域活動団体への参加促進・活動支援のポイントとして「周知・PR」については若い世代に向けて効果的に伝えていくことが重要。
若い世代に向けた広報についてはSNSなど日々更新していく新しい情報に参入することができれば、より地域福祉に興味をもってくれる人が増えていくのではないかな。

社会資源の活用及び継続性に係る諸問題

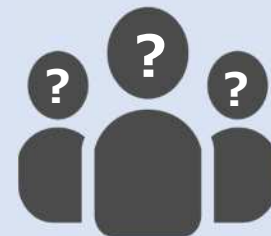
社会資源へのアクセス

様々な分野で取り組みが推進されており、情報提供も別々で行っている。



インフォーマル活動の紹介

団体がどのような活動をしているのかテキストだけではわからない、例えば写真の掲載や参加者募集の旨を記載することが重要。



担い手不足の問題

様々な自主活動団体での後継者不足や新規参加者の低下が課題となっている。周知の在り方を工夫し、関心をもっていただくような仕掛けが必要



若い世代への発信

学生や現役世代のうちから地域活動を知ってもらい、興味を持ってもらうため情報発信の充実が必要



社会資源の「見える化」の方向性 | 事務局案の提示

社会資源の活用及び継続性に係る諸問題

社会資源のアクセス

担い手不足の問題

インフォーマル活動の紹介

若い世代への発信

地域住民の多様なニーズに対応するための社会資源情報を整理するとともに、住民参加の促進を図るための情報発信や情報へのアクセス性の強化が求められる。

福祉sosゲームを発展し、地域課題解決力の強化

社会資源の一元化

福祉sosゲームの発展形として、**地域住民の地域課題解決力の向上**に資するよう、地域包括支援センターや基幹型相談支援等各種相談窓口や介護事業所等サービスを提供する施設等**フォーマルサービス**の、分野を横断する社会資源を収集し**一元化**する。

また、**生活課題を抱えた方に必要な情報が届くよう**例えば冊子の作成を行うなど、情報提供の方法について検討していく。

多様な主体の活動の普及啓発と新規参加促進

住民団体の活動紹介

地域の**インフォーマルサービス**等**地域住民の主体的な活動を幅広く周知**することで、団体への興味関心を呼び起こし、新たに地域福祉活動に参加したい方を発掘する基盤整備を図る。

具体的には、関係各課が把握している地域課題の解決に資する住民主体の活動団体を収集し、**活動内容や参加者募集の有無を一覧化**し、広く周知を図る。

期待される効果

- ・制度・分野別に管理・更新されている各情報へのアクセス性が向上され、市民が必要な社会資源にたどり着きやすい環境が構築できる。
- ・対象者の居場所などインフォーマルサービスの案内が容易となり、参加支援の質が向上され、地域のつながりがより強化される。
- ・情報の更新作業といった保守点検を集約することで業務負担の低減や情報の質を担保する。

今後の動きについて

関係各課の社会資源の管理状況（データベースの保有の有無やリスト化の可能性）や掲載希望の有無について **計画策定調書と同じ時期に調査**を行う。また、地図上に落とし込む機能など市民が情報にアクセスしやすい「見える化」の手法について検討していく。

参考 他自治体の取り組み① | 埼玉県三郷市 高齢者の在宅生活を支える活動情報

特徴 | 高齢者の在宅生活を支える民間事業者によるサービスや住民、ボランティア等による支え合い活動の情報をまとめた「高齢者の暮らしちょこっとお手伝いガイド」と地域の交流の場の情報をまとめた「通いの場マップ」を作成、市HPに公開。

【掲載内容】

- ①配食/調理/掃除/外出同行/見守り・声かけ等を実施する事業者（NPO法人や民間サービス）
- ②サロン、体操、認知症カフェ、老人クラブ、交流施設

- 必要な情報にアクセスしやすいよう、生活場面に応じ地域資源を整理している。
- 例えば送迎サービスでは、介護タクシーや福祉有償運送の他、一般タクシーの連絡先や利用料を掲載するなど民間サービスも幅広く紹介している。
- 日常生活圏域ごとにサロンと老人クラブの情報をマッピング、活動内容や参加窓口も案内できるようにリスト化している。

▼在宅生活を支えるインフォーマルサポート一覧

④買い物・・・店舗購入品の配達、移動販売、買い物代行、生協、ネットスーパー

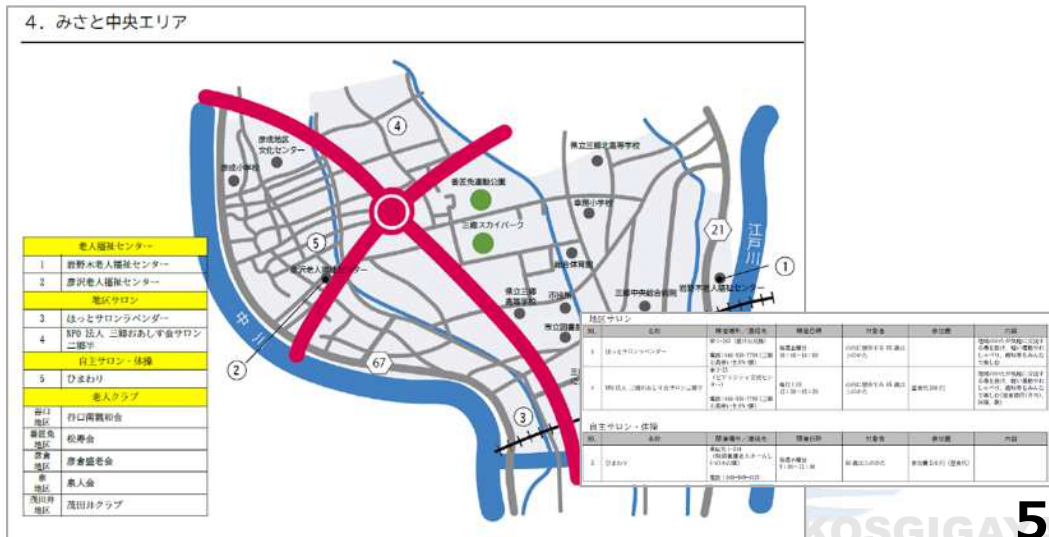
ご自身やご家族だけでは「買い物」が難しいかたや介護保険ではサービス提供が難しいかたにご利用いただける「買い物」のサポートである「店舗購入品の配達」、「移動販売」、「買い物代行」、「生協」、「ネットスーパー」について掲載しています。NPOについては、ご自身やご家族の状況をNPOが聞き取った上で利用の可否を決定しますので、個別にお問い合わせをお願いします。また、「他リポートの実施」欄に「○」がある事業者は、「買い物」以外のサポートを実施しています。なお、市で実施する「軽度生活援助」を利用できるかたは限定されており、地域密着支援センターを通じて申請が必要となります。

事業者/連絡先	サポート名/内容	利用料(税込)	対象者	他リポートの実施	備考
【食生活アドバイザーから学ぶ食生活】 【高齢者向け食生活セミナー】 【ヘルスケア講座】 三郷市健康づくりセンター 電話：180-4252-1194	【食生活アドバイザーから学ぶ食生活】 【高齢者向け食生活セミナー】 【ヘルスケア講座】 食生活に関する講座やセミナーを開催し、食生活の改善を支援します。	無料	高齢者、障害者、高齢者の家族、介護者、高齢者の関係者	○	地域にふさわしい活動を行います。
【サロニア・サロン・カフェ】 三郷市健康づくりセンター 電話：180-4252-1194	【サロニア・サロン・カフェ】 高齢者の生活の質を向上させるための活動を行います。	無料	高齢者、障害者、高齢者の家族、介護者、高齢者の関係者	○	地域にふさわしい活動を行います。
【移動販売】 三郷市健康づくりセンター 電話：180-4252-1194	【移動販売】 高齢者の生活の質を向上させるための活動を行います。	無料	高齢者、障害者、高齢者の家族、介護者、高齢者の関係者	○	地域にふさわしい活動を行います。
【買い物代行】 三郷市健康づくりセンター 電話：180-4252-1194	【買い物代行】 高齢者の生活の質を向上させるための活動を行います。	無料	高齢者、障害者、高齢者の家族、介護者、高齢者の関係者	○	地域にふさわしい活動を行います。
【ネットスーパー】 三郷市健康づくりセンター 電話：180-4252-1194	【ネットスーパー】 高齢者の生活の質を向上させるための活動を行います。	無料	高齢者、障害者、高齢者の家族、介護者、高齢者の関係者	○	地域にふさわしい活動を行います。



【目次】	
1. はじめに	
2. 生活支援コーディネーターの紹介	
3. 在宅生活を支える様々なサポート(サポート内容)	
①配食(高齢者向け)	
②調理	
③掃除・洗濯	
④買い物/店舗購入品の配達、移動販売、買い物代行、生協、ネットスーパー	
⑤ゴミ出し/一般ゴミ、粗大ゴミ、家財処分	
⑥外出同行(送迎を伴わないもの)	
⑦送迎/一般タクシー、介護タクシー、その他送迎サポート	
⑧見守り/声かけ/訪問・電話、人感センサー、GPS	
4. 相談窓口	

▼通いの場マップ



参考 他自治体の取り組み② | 高知県高知市 高知くらしつながるネット Licoネット

特徴 | 生活上の悩み相談や地域のボランティア、子育て情報など、様々な情報を一元化し、webサイト上で公開している。

【掲載内容】

- ①医療機関、相談窓口、介護保険・介護予防事業所、障害福祉サービス事業所、子育て支援サービス等
 - ②こども食堂、ボランティア、居場所等
- キーワード検索、地図検索、周辺検索など、多様な検索方法から、必要な情報を簡単に取得できるウェブサイトとなっている。
 - カテゴリ設定の自由度が高く、高知市では地域共生社会の実現に向け、幅広い分野の情報のほか、イベントカレンダーを作成している。
 - 高知市のほか、全国でも58自治体（令和6年10月時点）が本システム（カシオ計算機株式会社『Ayumu』）を導入している状況となっている。

▼ウェブサイト（イメージ）

① トップページから詳細検索をクリック



② 条件を選択する



③ 対象リストを表示



④ 詳細を確認できます



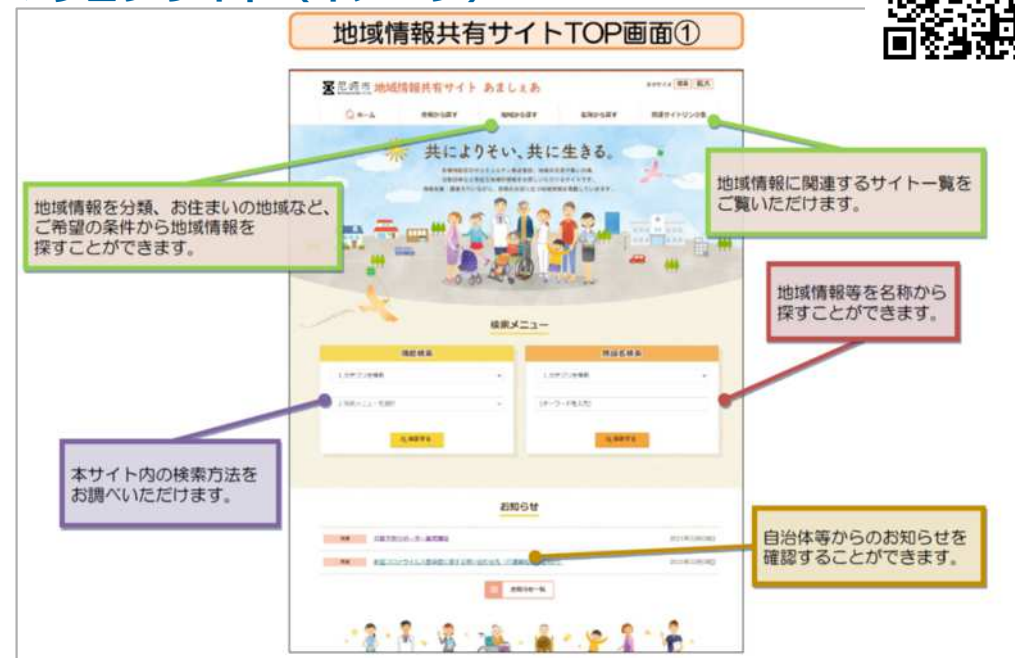
参考 他自治体の取り組み③ | 兵庫県尼崎市 地域情報共有サイト あましえあ

特徴 | 公営・民営問わず、地域の交流や集いの場、相談窓口、コミュニティ拠点施設、市民活動団体等の幅広い地域情報を掲載しているWebサイト上で公開している。

【掲載内容】

- ①医療機関、介護保険・介護予防事業所、障害福祉サービス事業所等
 - ②地域活動、ボランティア、交流の場、集いの場等
- キーワード検索、地図検索、周辺検索など、多様な検索方法から、必要な情報を簡単に取得できるウェブサイトとなっている。
 - イベント情報については、別サイト（地域活動情報ポータルサイト『市民活動の広場あまがさき』で管理。※サイト内リンクあり。
 - 尼崎市のほか、全国でも93自治体（令和6年6月時点）が本システム（トーテックアメニティ株式会社 けあプロnavi）を導入している状況となっている。

▼ウェブサイト（イメージ）



参考 他自治体の取り組み④ | 兵庫県養父市 社会的処方ポータルサイト つながるDAY YABU

特徴 | 市内で行われているつどいの場の情報を集約し“つながる先・つなげる先、地域コミュニティ・社会資源マップ”を見える化した総合ポータルサイトをWebサイト上で公開している。

【掲載内容】

- ①地域活動・つどい情報（ボランティア、子ども食堂、子育てひろば、認知症カフェ、サークル活動、NPO法人等）
- 活動内容をイメージしやすいよう、実際の活動写真を掲載している。
- 活動記録について、社会福祉協議会職員等がライターとなり、「つながるレポート」として住民に紹介している。
- 「社会的処方」という概念を取り入れ、社会とのつながりで誰もが健康になるまちづくりを目指すことを目的としている。

▼ウェブサイト（イメージ）

